

佐野 武次 議員

計画伐採への取り組みは

問 停電の予防策として、あらかじめ樹木を伐採する計画伐採への取り組みは。

答 中部電力と県、西部8市町で、大規模停電に対する意見交換会を立ち上げ、協議している。樹木所有者の同意や費用負担などの課題があるため、実施に向けてはさらに検討し詰める必要がある。

台風19号による
海岸侵食への対応

問 浅羽海岸は、強烈な高波によって侵食され、大変、危険な状況にあるが、早急に安全対策を講ずる必要があるが。

答 県が主要な出入り口にバリケードを設置するなどの措置を講じたが、早急に海岸利用者が安全に通行できるよう、出入り口の復旧に努めていきたい。

村松 尚 議員

本市の子育て支援は

問 保育所等の待機児童の対策は。

答 令和2年度に向けて小規模保育施設の新設支援や公立幼稚園の認定こども園化などにより、定員数を110人拡大する。また、幼稚園の延長預かり保育実施園を5園に拡大し、待機児童の解消に努めていきたい。

問 放課後児童クラブの待機児童は心配ないか。

答 現在1214人が入所しているが、山名小、袋井北小、袋井南小、浅羽東小で71人の待機児童が発生している。今後、利用者数の増加が予想されるため、小学校、育成会、NPO法人等と調整を図り、学校の教室等を利用することで、夏休み等の長期休業期間の利用者も含めて待機児童の解消に努めていきたい。



浅羽海岸の侵食状況

サンドバイパスの効果と
海岸の侵食対策

問 サンドバイパスシステムの事業効果と今後の浅羽海岸の侵食対策への考えは。

答 県の測量では、浅羽海岸は平均で海側へ約10メートル浜が伸びており、そうした意味で有効であると認識している。浅羽海岸の保全に向けては、今後とも積極的に国や県に要請していきたい。



袋井北小学校区放課後児童クラブ

『道の駅』を望むが
考え方を

問 市民及び観光客が、地場産品・特産品を購入する場として『道の駅』を求めているがどうか。

答 『道の駅』の健全な経営が成り立つことを最優先に考える必要がある。民間事業者等から具体的な提案があれば、国の特区制度に準じた民間主体による『道の駅』の設置の検討も進めていきたい。